

チートオリ主作製株式会社

ブリオン

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

これは、とある男の物語

男の仕事はただ一つ、顧客の満足のいく時身体を作り上げること

目次

## お客様第一号

みなさんは、転生というものをご存知だろうか。あ、いや、別に宗教の勧誘とかじゃないよ。ただの確認さ。

ほら、よくあるじゃん。神様転生！とか、チートとか、特典とか、俺TUEEEEEEEEE！……とかさ、そういう今日日ネットの海にあふれかえるほどある物語のオリ主。そいつらは当然のごとく新しく手に入れた身体で、それぞれの英雄譚を作っている。それこそハーレム作ったり、原作介入して気に入らないエンディングをぶっ潰してみたり。

では、ここで問題だ。そのオリ主たちが使う身体、それってどうやって生まれたと思う？

選択肢1：神さんがつくった

選択肢2：生命の神秘

選択肢3：世界の理がナンタラカンタラ

選択肢4：その他

まず、選択肢1を選んだひと！

不正解だ。神様つつても完璧じゃない、だから手違いで人を殺したりするんだ。だいたい、そういうお話に出てくる神様は転生を司る神だ。生命を、オリ主の器となる身体を創り出す神ではない、どんな身体がいいかアンケートみたいなのはするけどね。神様の世界でも分業化が進んでいるのだ。まあ、適材適所だ。

というわけで選択肢1は違う。

次に選択肢2を選んだみなさん。

不正解だ。だってそうだろ、オリ主の一部は一般家庭で生まれたにも関わらず、世界滅ぼしたりしてるんだぞ。遺伝子操作とか、突然変異とか、そんなチャチなもんじゃせつめいつかないだろ。あー、でも剣と魔法の世界だったら当てはまる例とかあるかもな、最強種のドラ

ゴンの亜種とか。でもまあ、不正解だ残念ながらね。

選択肢3、ふせいかーい

世界の理ってのはどこまでも平等で常に正しく在ろうとする。だから誰かに肩入れしたり、依怙鼻屑したりしない。つーか、理なんだから意識とかそんなもんじゃない。あ、でも理を捻じ曲げて世界を思うままにすることはできるな。まあとんでもなく労力がかかるうえに、そんなことすれば世界そのものがぶっ壊れたりするから相当なイカレか、世界の在り方に対して恨みを持つ輩ぐらいしかやらかさないだろうけどな。

最後に選択肢4を選んだ諸君。おめでどう、正解だ。

正解したからといって何かもらえるところはないよ。世の中そんな甘くない。

ずいぶんと前置きが長くなってしまったね。まず自己紹介だ、僕の名前はヤマダシヨウキチ。名前の通り元日本人だ。死後にとある神様からスカウトされて今の位置にいる。ちなみに、死因というのはトラックとか、手違いとかじゃない。ウチの上司はそんなアホなことほしくない………と思いたい。いや、切実に。そんでもって、僕の仕事が何してるかってことなんだけど、あんなクソ長い前置きをしたんだからみんなきつと予想してるだろう。そう、僕の仕事はチートオリ主の新しい顔を焼き上げr……じゃない。新しい身体を創り出すことなのさ。でもアフターケアとか後始末とか他にも色々な仕事を押し付けられることもあるけどね。世の中ホントブラックだね。(あの世も含む)

もちろんそんな大仕事を僕一人でこなしてるわけじゃない。僕が担当として受け持つのは、「ダンまち」の転生者だよ。さしづめ、チートオリ主製作株式会社ダンまち支部、といったところかな。

この物語はそんな僕のあの世ライフを描く営業譚だ。なんてね。